

第538号 2011年4月17日

日本共産党中央区議団

中央区築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570



お元気ですか  
**志村 たかよし** です

# 原発事故

## 東電まかせ 対応は後手後手 様々な分野の専門家の知恵と能力の結集で打開を!

東日本大震災の発生から一ヶ月が過ぎました。

まだ強い地震（余震）がつづき、被災地の方々の心労は、すでに耐え難いものになっていることでしょう。

地震のたびに「福島原発は大丈夫か!」の不安がよぎります。

原発事故の危機的状況は、いまだに脱していません。

それどころか、日に日に深刻な事態が明らかになってくる状況です。

### 原発事故の危機収束に総力を

いま求められているのは、原子力委員会、原子炉メーカー、原子力機構、大学など内外の専門家、関係技術者の知恵と能力を総結集して事故の拡大を抑え、この危機を一刻も早く収束させるために総力を挙げることです。

### 政府・東電は情報の全面公開を

政府や東京電力からの情報があまりにも少ないことに、国内外の専門家から批判が出ています。

原発事故の現状について、政府や東電などが持っている情報を全面的に開示する必要があります。

そうしてこそ、様々な分野の専門家・研究者・技術者の知恵と能力を結集することができます。

### 国民に、正確なデータの公表を

テレビでは「原子力の専門家」といわれる人たちが、いろいろ解説しています。本来、頼りになるのは、政府の発表のはずですが、後手後手の対応に国民は不信を募らせています。

それを払拭させるには、政府が責任を持って放射能の拡散と汚染のデータを、正確に、すみやかに国民に伝える必要があります。

### 党区議団、08年から原発の安全対策について区長に提言

07年7月16日に発生した中越



原発をとりあげた08年の申し入れ

沖地震によって新潟県柏崎の刈羽原子力発電所で火災が発生し、大きな問題となりました。

日本共産党区議団は、08年の「予算要望」の申し入れの時から「中越沖地震を教訓に、原子力発電所の安全対策を抜本的に見直すよう国に求めること」を毎年、区長に求めてきました。

政府がデータを公表するときには、国民がその意味を正確に理解できるようにし、とるべき行動がわかるような説明をおこなえば、安易な楽観論も過剰な不安も風評被害も防止することができます。

### 被害に対する全面的賠償を

原発事故の被災地の住民や自治体は、先の見えない状態におかれています。

さらに放射能被害の拡大が危惧されています。

国には、被害を受けた住民と自治体に対して責任ある対応が求められます。

そして、風評被害も含めた農水産物などの被害に対する全面的な補償と賠償を東電と国の責任でおこなうことが必要です。



今回の事故は、安全対策を怠った人災に他なりません。

「安全神話」と決別して原子力の危険性を直視した原子力行政に転換し、エネルギー政策を原発依存から、太陽光・熱、風力、水力、地熱、波力、潮力、バイオマスなど再生可能エネルギーの利用へと変えさせましょう。

あわせて、「大量生産・大量消費・大量廃棄」という浪費社会のあり方も見直すときだと思えます。これからも、命と暮らしを守る社会を作るために力を尽くします。

## B S番組で吉井議員が“安全神話”を批判

# 原発事故 根底にコスト削減論

日本共産党の吉井英勝衆院議員は6日夜放送のBS11番組「インサイドアウト」に出演し、「原発事故『想定外』政府の言い訳は通用しない!」のテーマで発言しました。

司会の小西克哉国際教養大学客員教授は、「政府やマスコミで流される『想定外』という言葉は聞き飽きた。何年も前から国会でも問題を取り上げてきた吉井さんに聞く」と紹介しました。

番組では、同日の衆院経済産業委員会での政府に対する吉井氏の質問の様子も映し出されました。

吉井氏は、「地震から1時間後に『全電源喪失』だと政府に連絡があった。絶対に炉心を露出させず、今回のような事態を引きおこさせないために全力を尽くすのが東京電力と政府の責任だったが、やっていなかった。海水注入など東電がやらないなら政府が命

令を出すべきだったが、遅すぎた」と述べました。

小西氏は「これまでの吉井さんの質問に、政府や電力会社の態度はどうだったのか」と質問。吉井氏が「『日本の原発は安全、大丈夫』という繰り返しだった」と指摘すると、小西氏は「国会でそういうやりとりだったとは信じがたい」と驚きの表情を見せ、「メンテーターの金子秀敏・毎日新聞論説委員は『呪文のようなものだ』と述べました。

吉井氏は、原発の「安全神話」の根底に「『安全かコストか』という発想」があると指摘。「技術的にはいろいろ考えられるところを、コストを安く抑えるために『安全神話』を使ってきた」と述べる。小西氏は「今度の事故で安全神話は完全に粉砕された」と述べました。

(しんぶん赤旗4/8付より)

「意見、要望など、お気軽に」連絡ください(03-6660-6606)